

実施日程	実施校名	地元主催者
2019年7月1日(月)	須崎市立新荘小学校	高知県教育委員会
2019年7月2日(火)		
2019年7月4日(木)	宿毛市立橋上小学校	高知県教育委員会
2019年7月5日(金)		
2019年10月29日(火)	西条市立三芳小学校	愛媛県/愛媛県教育委員会 西条市教育委員会
2019年10月30日(水)		
2019年10月31日(木)	今治市立鴨部小学校	愛媛県/愛媛県教育委員会 今治市/今治市教育委員会
2019年11月1日(金)		
2019年11月11日(月)	美馬市立江原北小学校	徳島県教育委員会 美馬市教育委員会
2019年11月12日(火)		
2019年11月14日(木)	砥部市立広田小学校	愛媛県/愛媛県教育委員会 砥部市/今治市教育委員会
2019年11月15日(金)		

し
 知っていますか?～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

こども映画教室とは…

15年前に始まった「こども映画教室」がめざすのは「こどもと映画のアカリイミライ」。多様な活動を通して、映画という自由で身近な芸術をより多くのこどもに届けます。

こども映画教室が大事にしていることは2つ。1. 大人は手出し口出ししないこと。2. 一流の映画人と出会うこと。大人がこどもを信じ自主性を尊重することでこどもには自尊感情が生まれ、真剣な大人との出会いはこどもを勇気づけ自己肯定感をもたらします。

「映画教育は人間教育」という言葉を胸に、生きづらさを抱えた子や、居場所をもちにくい子にも映画を届けたいと活動しています。これまでに、是枝裕和、諏訪敦彦といった一流の映画監督たちがこの活動に共感し特別講師を引き受けています。

一般社団法人 **こども映画教室**

〒158-0084 東京都世田谷区東玉川1-32-23
phone & fax : 03-6313-1641

<http://www.kodomoeiga.com>
info.kodomoeiga@gmail.com
<https://www.facebook.com/kodomoeiga/>



文化庁

令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

一般社団法人

こども映画教室

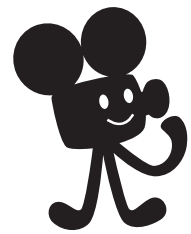
映画鑑賞＋ワークショップ公演

「生きてないものが動く!」

みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう!

「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



映画鑑賞＋ワークショップ 「生きてないものが動く！」 みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！

プログラム紹介

※プログラムは施設ごとの状況により変更となる場合がございます。

①映画を“観る”

映画『赤い風船』は世界三大映画祭の一つである第9回カンヌ国際映画祭短編映画部門で最高賞のパルム・ドール第29回アカデミー賞脚本賞ほか数多くの賞を受賞した今もなお価値が失われない名作です！！

1950年代のパリを舞台に男の子と風船の友情を描いたこの小さな映画は、世界中で愛されています。この映画に出会えてよかったと思える美しい名作をみんなで鑑賞します。



※本公演ではiPadを使用して撮影します



『赤い風船』(1956年／フランス映画／36分)
監督・脚本：アルベール・ラモリス

おはなし

ある日、街角で赤い風船をみつけた男の子。
なんと風船は手をはなしても、
まるで生きているかのように男の子のあとをついてきます！

②映画について“おしゃべりする”

鑑賞した『赤い風船』について、どんな人が出ていた？

どんな音がした？など、みんなでおしゃべりしながら振り返り、
映画について感じたことや考えたことを言葉にします。

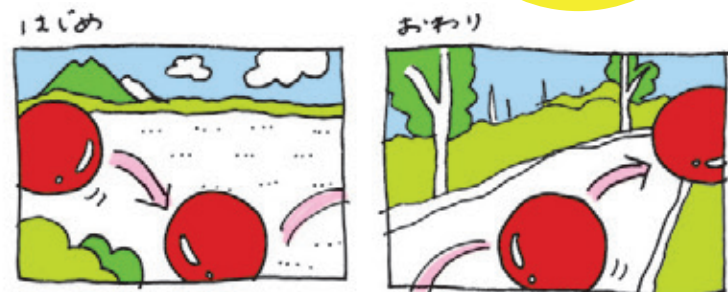


③映画を自分たちで“撮る”

チームに分かれ、赤いボールを主人公にした短い映画をiPadで撮影します。
ストーリーも撮り方もみんなで考えます。

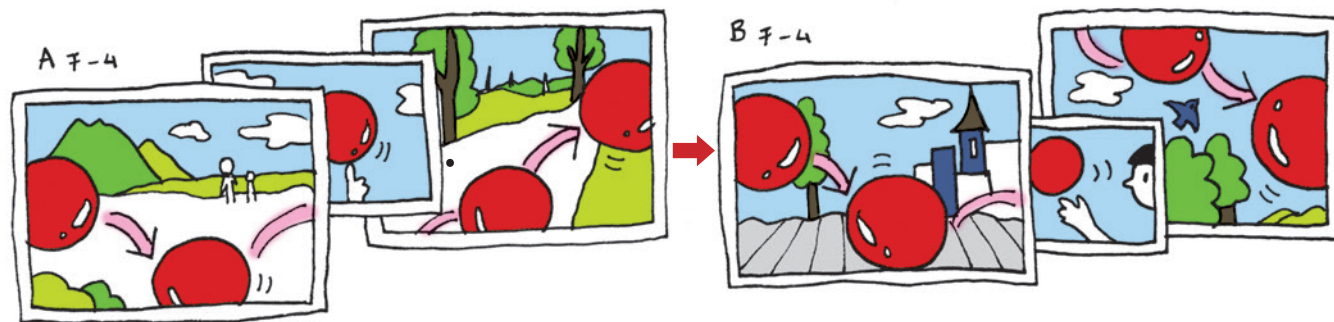
ルールはひとつ！

ボールはかならずフレームの外から
入ってきて、最後はフレームからでていきます。
おもしろそうな場所を見つけて撮ってみましょう。



④自分たちの映画を“観る”

それぞれのチームが撮った映画を1本につなげてみると？！
なんとAチームの映画のおわりにフレームの外に飛びだしたボールが
Bチームの映画の中にポンとはいってきて、次にはCチームの映画の中に！！
まるで赤いボールがみんなの知っている場所を冒険していくように見えます！



特別講師プロフィール
諏訪 敦彦(映画監督)

映画監督、大学教授(東京藝術大学)。
1997年に公開された『2/デュオ』で長編映画監督デビューの後、1999年公開の監督作品『M/OTHER』で、第52回カンヌ国際映画祭の国際批評家連盟賞を審査員全員一致で受賞。2005年には、全てフランス人キャスト・スタッフによる『不完全なふたり』(日仏合作)がロカルノ国際映画祭において審査員特別賞と国際芸術映画評論連盟賞を受賞。その後もフランスを活動拠点とし、オムニバス映画『パリ・ジュテーム』(2006年)への監督参加、フランス人俳優との共同監督による『ユキとニナ』(2009年)がカンヌ国際映画祭において高い評価を受ける。2018年、8年ぶりの監督作品『ライオンは今夜死ぬ』(2017年)が公開された。最新作は『風の電話』(2020年初春公開予定)

ワークショップスタッフ

【特別講師】
諏訪 敦彦(映画監督)

【プロデューサー】
土肥 悦子

【ファシリテーター】
深田 隆之 奥定 正掌 今橋 貴
小林 和貴 糠塚 まりや 大川 景子
飯岡 幸子 西原 孝至 上田 謙太郎
太田 達成 中村 隆一

【テクニカルマネージャー】
酒井 貴史

【アシスタントプロデューサー】
浅見 孟